

RI・研究所等廃棄物処分事業の概要（案）について

(独)日本原子力研究開発機構
(社)日本アイソトープ協会
(財)原子力研究バックエンド推進センター

処分事業の前提条件について

1. 処分方法

コンクリートピット処分、トレンチ処分の2種類の処分施設

2. 処分事業範囲

廃棄体の受入から廃棄体の埋設処分までを実施し、そのために必要な施設整備及び操業。

廃棄物発生者 : 廃棄物処理、廃棄体化处理、廃棄体輸送までを実施。

廃棄物処分事業者 : 廃棄体の処分を実施。

3. 対象廃棄物

これまでの作業部会で示されたRI・研究所等廃棄物のうち浅地中処分対象廃棄物

4. 施設設計前提

コンクリートピット: 259,200本

トレンチ : 360,000本

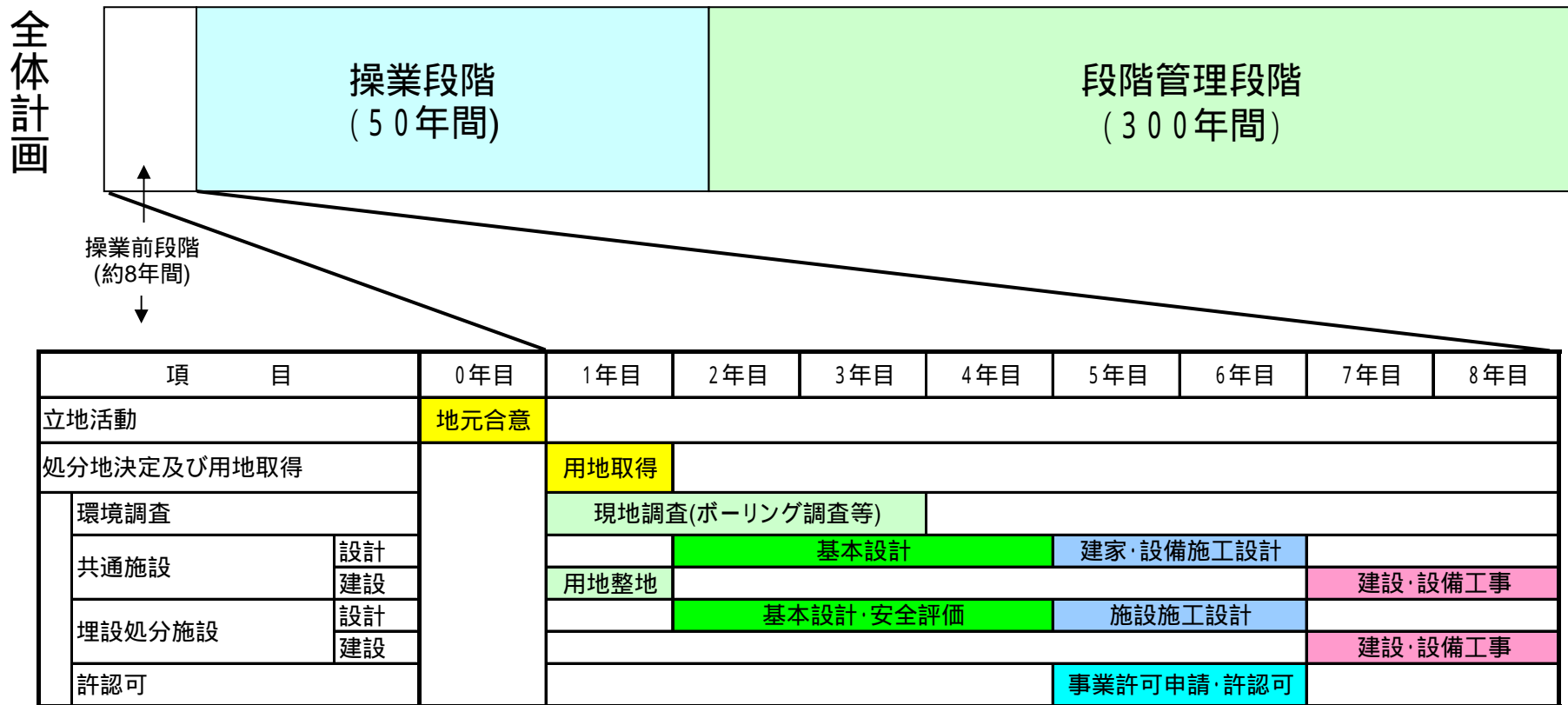
(廃棄体数量は、施設設計のために設定した数値(200Lドラム缶本数))

操業期間 : 50年間

注釈: 本資料で示す内容はあくまでも現状での検討案の一例であり、今後変わりうるものである。
また、資料として分かり易く表現するため縦横の縮尺が合わない図面もある。

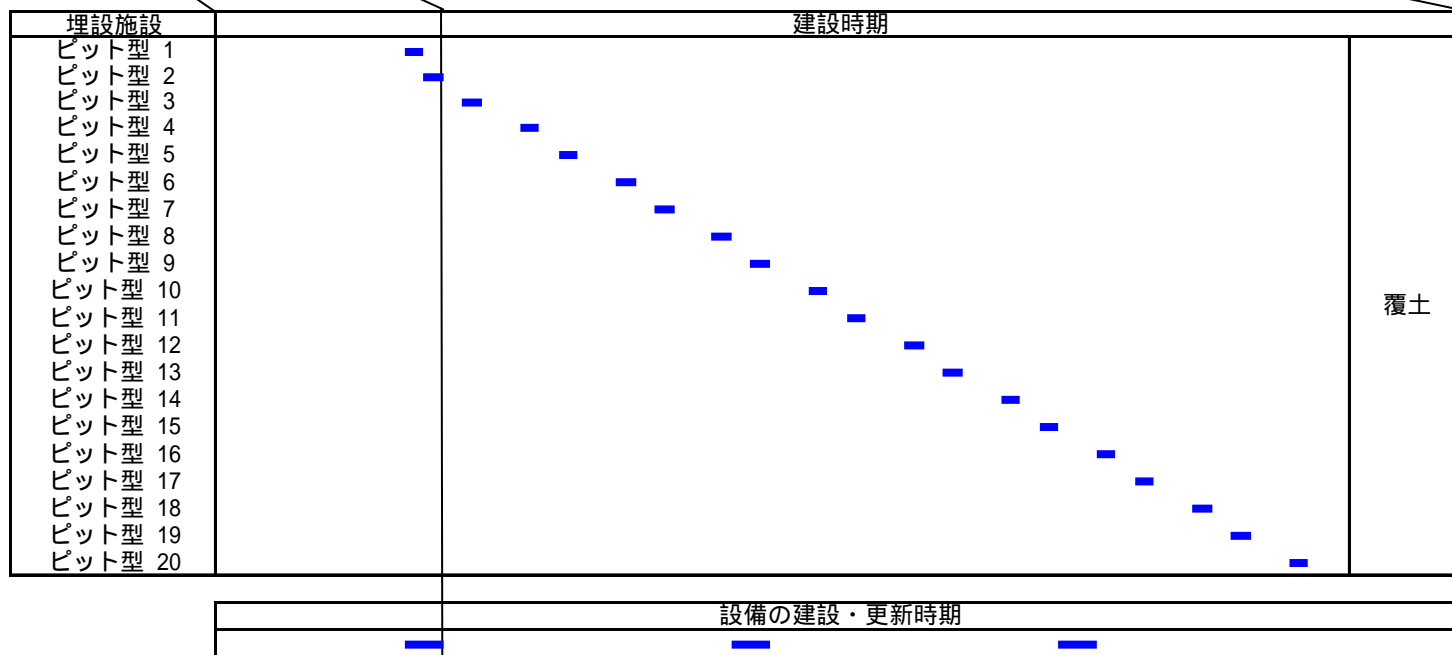
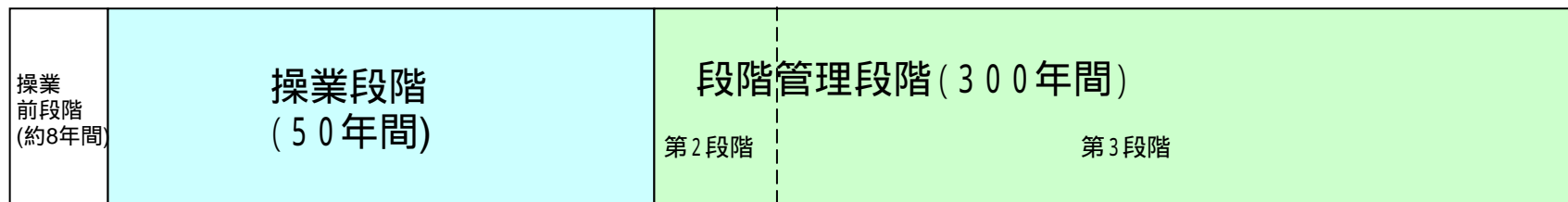
処分事業の年度展開について

1. 操業前段階について



2. 操業段階から段階管理について

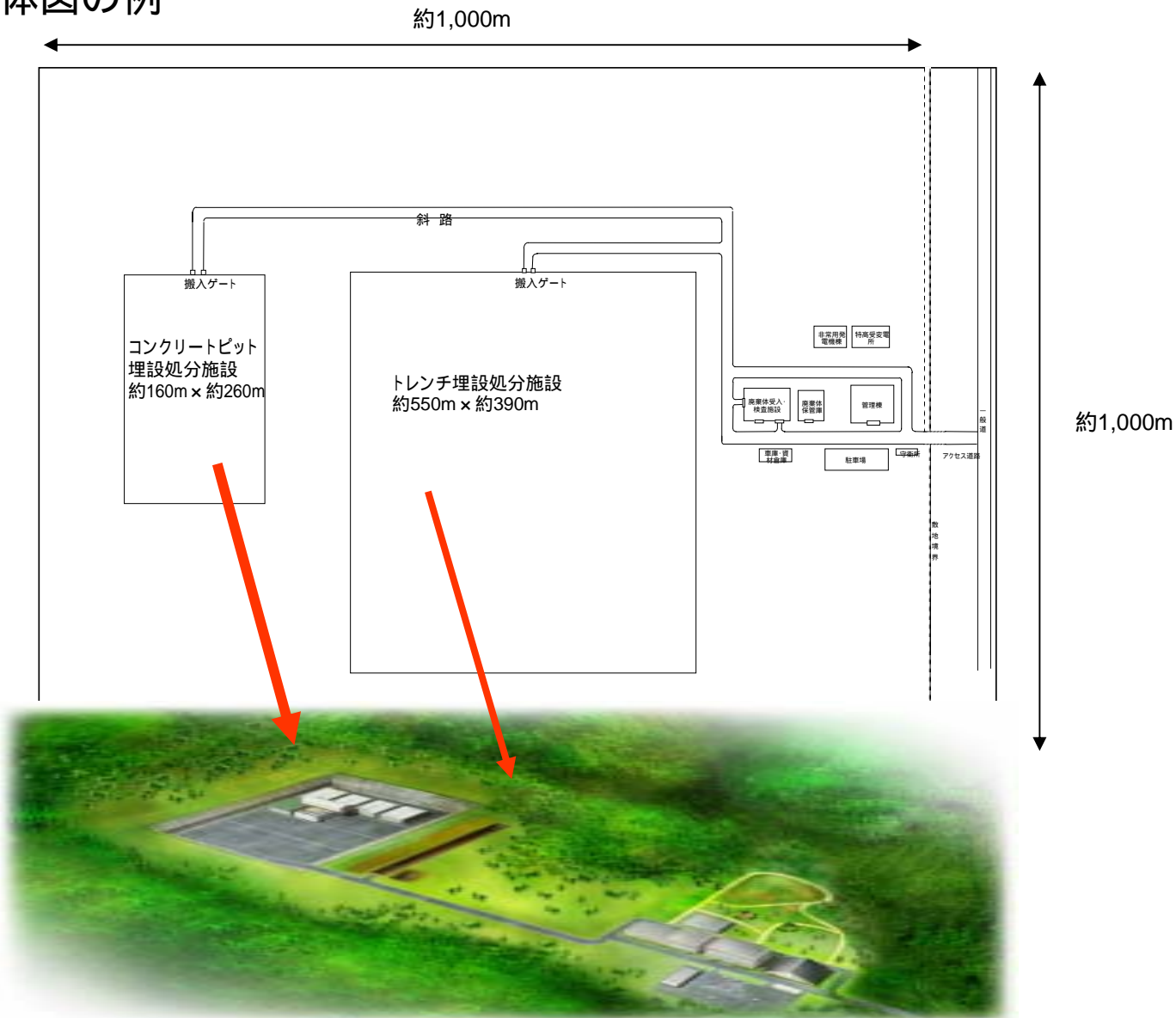
全体計画



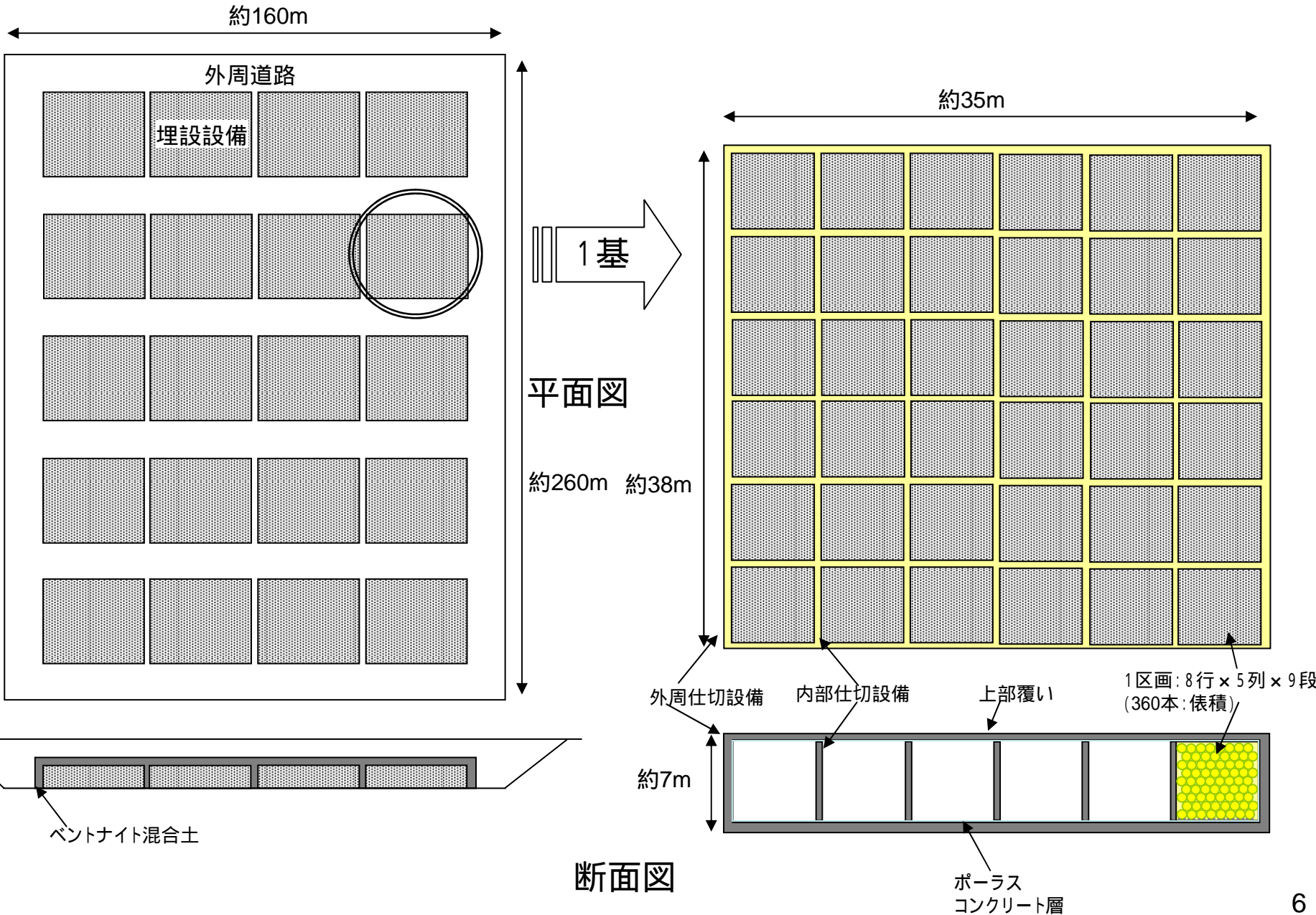
コンクリートピット施設建設の例

埋設処分施設の概念図

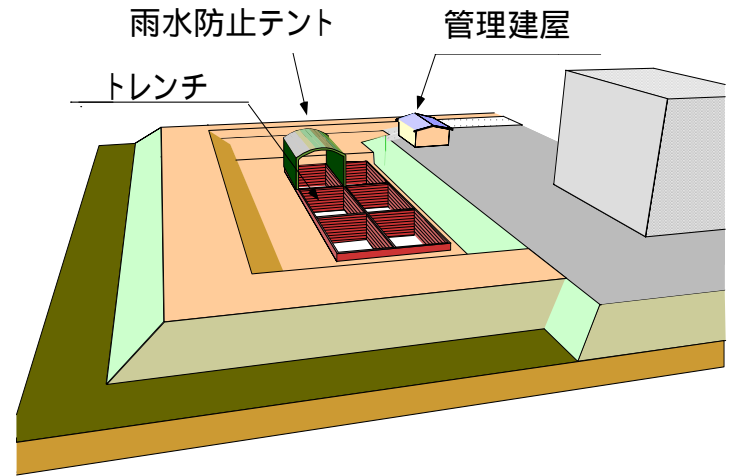
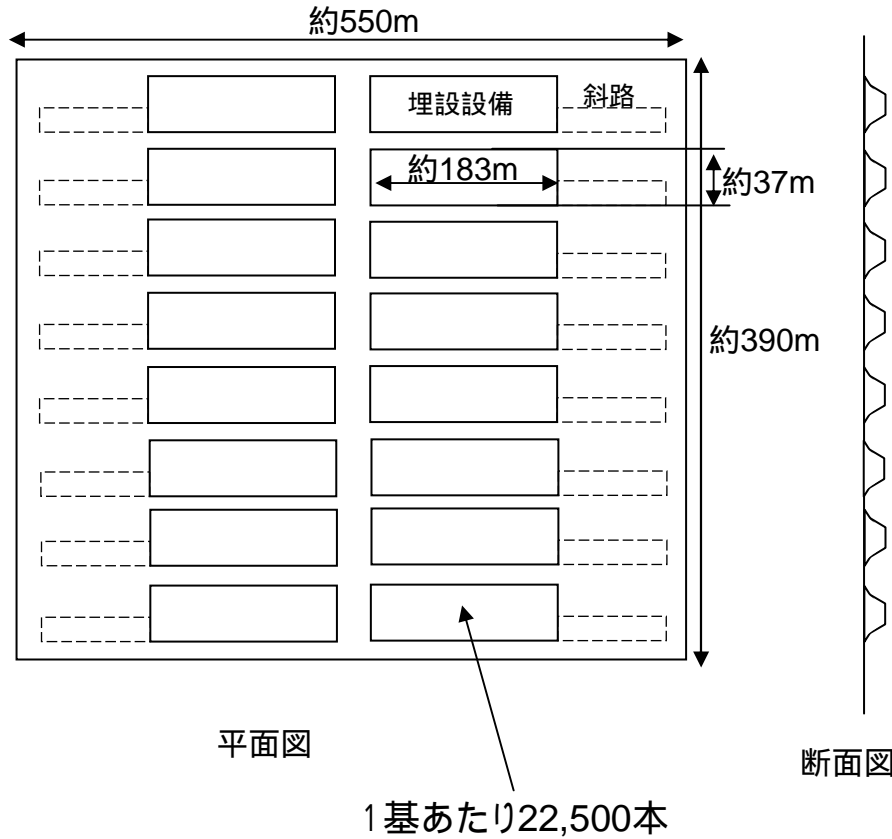
1) 施設全体図の例



2) コンクリートピット埋設処分施設の例



3) トレンチ埋設処分施設の例



日本原子力研究開発機構埋設実地試験でのイメージ図

4) 廃棄体受入検査施設の例

